小兒にとつて学校に入るということは、生活様式が変るので、精神的にも肉体的にも負担が大きくなります。
疲労、嫌悪、不安、あせりなどをおこしがちですから、周囲でこまかに気を配りましょう。

市報 いしおか

3月号
第23号
毎月1回
20日発行

発行所 石岡市役所
石岡市大字石岡408番地
電話（代表）38番
発行人 鬼沢賢造

人口と世帯（2月29日現在）

世帯数		7,244世帯
人口	男	17,544人
	女	18,688人
	計	36,232人

会期十二日間
定例第一回市議会開かれる
注目された31年度予算案

本年才一回定例市議会は十二日市議場で開会され、専決処分三件の報告、昭和三十一年度才入才出予算ほか三十二議案が上程され、川並市長は施政方針と予算案についての説明を行つた。議会は十三日、十四日休会に入り、十五日、十六日は総休質問が行われ、十七日決算特別委員会となり、十八日休会、十九日から二十二日（うち二十一日は休会）まで各常任委員会の付託審議、二十三日本会議を再会し三十年度市才入出追加更正予算など三十一議案が可決された。

川並市長 予算編成方針を説明

川並市長は才一回定例市議会の席上、三十一年度予算編成方針について大要次のように説明した。

この昭和三十一年という年は地方自治にとつて、岐路に立つ重大な年であります。当市は昨年の赤字千四百余万円が三十年度の会計から支出されている現況で、再建特別措置法の赤字団体に含まれる苦況に陥いつていますが、種々の制約がありますので、その適用は受けない念願であります。

政府の方針は総て減税措置が採られ、市に及ぼす賦課税が年々減収を来している状態です。市の自治権を守り抜くには、是非とも年次計画により自主確立を貫徹いたさねばなりません。よりまして本年度予算は、総額において前年度に比し二割の削減を行い、骨格予算として赤字解消に努めようとするものです。しかし教育費、土木費等につきましては現況に鑑み特に重点的な予算の編製に当りました。

桜

「春よ来い、春よ来い」と子供たちは、春の女神に呼びかけている。世は水爆実験とか、原子戦訓練とか、相變らずさわがしいが、春はやはりやつてくる。チラホラと桜の花が咲き始めたのは二、三日前であつたのが、もう満香を放つている。戦争の傷も癒えて、三々五々と桜花をめでる人の心にも余裕がみえてきたようだ。

住民一人当り三千百円 才入見込一億一千万円

一般会計の才入総額を一億一千二百七十二万一千六百八十三円と見込み、その範囲内で市の重要施策を推進した。

（備考）なお、市民一人に対する一般会計予算規模（当初予算）の推移は次のとおりで

年度	市民一人当り
28年	二、二九八円
29年	三、四八五円
30年	三、二七〇円
31年	三、一〇八円

財源の調達については、三十一年度の税収を六〇%、特別措置法に基く需要額、単位費用増による需要額等による地方交付税一五%、前年度の実績を基準とした国庫支出金一六%等の見込でありますが、市債四%を予定し、結果は前年度に比べ六百三十一万七三三円の減少となつている。

議員報酬増額分を農村振興費へ

十二日の本会議に上程された三十一年度予算案は、議事日程に入り、柊木議員から一部修正提議があり、二十二日の最終本会議で一般会計一億一千二百七十二万余円、特別会計（国民健康保険等）二千四百三十九万余円が成立した。

十二日の本会議の席上、柊木議員は修正提議案について大要次のように説明した。本市は農村都市で農村地域の発展向上こそ、市の興隆の道であります。よつて前年度より二六%縮減の農村振興費（本項は産業経済費）の増額修正案を十八名の議員の同意を得て提出しました。増額財源として、予算案に組入れられた議員報酬の増額分三十六万円（月一人当り一千円）と予備費六十万円のうち三十四万円を繰入れ、計七十万円を充当するものであります。

才出

単位千円

一般会計

款別	31年度	30年度
議会費	2,371	2,235
役所費	32,710	34,009
警察消防費	6,572	6,676
土木費	4,739	12,708
教育費	24,078	22,456
社会及び労働施設費	20,554	18,203
保險衛生費	2,937	3,027
産業経済費	5,696	6,585
財産費	1,063	1,021
統計調査費	267	445
選挙費	587	590
公債費	2,741	2,182
諸支出金	8,146	8,595
豫備費	260	300
計	**112,721**	**119,032**

特別会計

	31年度	30年度
石岡地区国民健康保険	15,297	12,969
三村地区 〃	1,805	1,763
関川地区 〃	1,813	1,689
石岡市授産所及び附設保育所	5,473	5,904
計	**24,388**	**22,325**

緊急動議案否決さる

高橋議員は十五日の本会議の席上、同意議員十名により昭和二十八年市条例に定められた助役定数条例の一部改正（市助役二名とあるを本市に助役一名を置く）緊急動議案を提出された。同議案は十六日の本会議に上程され、賛成一〇票、反対一七票、保留二票で否決となつた。

国道六号線等で陳情

川並市長、三城市会副議長は四月二日上京して、国道六号線の外廻り線新設及び石岡電々局舎新築について、建設省関係部課、電々公社総裁に陳情を行つた。

可決された三十一議案

才一回市議会定例会で市長専決処分による報告及び可決議案は次のとおり

報告第一号 昨年十二月二十七日専決処分に付した市営住宅建設事業費に充てるための起債で、起債金額二百五十万円以内（利息定率六分五厘以内）とし、郵政省簡易保険局、その他から借入る。償還方法は十五年以内に半年賦償還する等

報告第二号 本年一月二十五日専決処分に付した三十年度茨城県興農資金要綱に基く酪農振興を計るため、乳牛導入資金としての借入で、借入金額四十二万円（利率年五分）借入先は茨城県償還方法は四ケ年四回払

報告第三号 三十年度一般会計才出追加更正予算産業経済費のうち農村振興費の優良家畜導入費補助及び小規模土地改良補助九万余円減を農業綜合表彰式費へ流用を主とするもの。

議案第一号 昭和三十年度石岡市才入才出追加更正予算
追加更正予算額 一、一一二千円

議案才二号乃至才六号迄 同才三号乃至才六号迄 昭和二十九年度石岡市才入出決算及び特別会計各地区国保、石岡市授産所及び附設保育所才入出決算

〔注〕右の十一議案については、市監査委員の審査を済げた処、正当と認められた。

議案才七号 昭和三十一年度石岡市才入才出予算

議案才八号 昭和三十一年度石岡市国民健康保険才入才出予算

議案才九号 昭和三十一年度石岡市三村地区国民健康保 ☆ ☆険才入才出予算

議案才十号 昭和三十一年度石岡市関川地区国民健康保険才入才出予算

議案才十一号 昭和三十一年度石岡市授産所及び附設保育所才入才出予算

議案才十二号 固定資産評価審査委員会の委員選任について

議案才十三号 石岡市手数料条例の一部を改正する条例

議案才十四号 昭和三十一年度一般会計から特別会計へ繰入について
石岡地区国保特別会計才出予算に充当のため一般会計から二百五十万円を繰出すこと

議案才十五号 右に同じ
三村地区国保特別会計才出予算に充当のため一般会計から三十万円を繰出すこと。

議案才十六号 右に同じ
関川地区国保特別會計才出予算に充当のため一般会計から三十五万円を繰出すこと。

議案才十七号 右に同じ
石岡市授産所及び附設保育所才出予算に充当のため一般会計から五十万円を繰出すこと。

議案才十八号 昭和三十一年度一時借入金をすることについて
借入金額二千万円以内で三十一年度一般會計才出予算支出に充当のため借入、利率日歩二錢八厘以内、借入先銀行その他、借時期＝年度内、償還期限＝年度末限りとしての借入

議案才十九号 右に同じ
石岡、三村、関川各地区の国保才出豫算充当のため借入金額百五十万円の前項同様による借入

議案才二十号 右に同じ
市授産所及び附設保育所才出予算充当のため三十万円の前項同様による借入

議案才二十一号 石岡市火災予防条例

議案才二十二号 職員団体の行う交渉に関する条例

議案才二十三号 職員団体の業務に専ら従事する職員に関する条例

議案第二十四号 石岡市国民健康保険条例の一部を改正する条例

（別項報）

議案第二十五号 石岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

納税組合だより

◉ 御詫び

昭和三十年度も組合員各位の協力と組合長の熱意によりまして、市財政確立に多大の成果を上げることができ厚く御礼申し上げます。さて昭和三十年度（昭和30、4、1〜昭和31、3、31）組合運営費補助金は、去る三月二十三日の市議会で、この予算が議決されましたので、来る**四月十四日**（月）に市公民館で行われる組合長会議の際に交付致します。係としましても組合の設立育成と健全なる発達を図るべく全力を上げ努めておりますが、交付金の遅れました事を御詫び申し上げます。

◉ 御願い

納期限内に市税を完納しますと組合員に対して税額の五分（保険税については二分）の奨励金が市条例により交付されますが、この請求受領は納付と同時に市役所又は各出張所でいたします。係では、この奨励金の請求受領が遅れますと事務処理の上に大変支障を来たしますので、よろしく協力を御願いします。なお来年度よりは納期限後**十日**を経て奨励金の請求受領がない場合は、この奨励金の交付が停止されますから御承知下さい。

小さい胸に大きな希望

八二一人が巣立つ

市内中学校の卒業式は、二十日一斉に行われた。進学と就職の二つのコースに別れ八二一人の生徒が学窓を巣立つたが、この生徒たちは一体何を考え、何を望んでいるのだろうか、集団就職など喜ばしいニユースを耳にするが、将来への道は彼等の希望を生かさせてこそ大いに次の時代を託することができるのではなかろうか。

市内公立中学校の卒業生徒は男四一九人、女四〇二人、計八二一人で上級学校進学者概数は男二一四人、女一五四人で卒業生徒数の四五%である。就職概数（石岡公共職業安定所調）は他人に雇用されることを希望する者男一〇九人、女一一四人で、これに対する就職率は一〇〇%を示し、実績効果は上々である。

学校別卒業後の状況

学校別	卒業生徒	進学生徒	就職生徒
石岡中	318	149	83
府中中	297	125	89
高浜中	78	47	13
三村中	68	24	14
関川中	60	23	3

三村中学校卒業生　大橋松枝

私は職業を選ぶとは自分の一生の生活の方向を選ぶ事なので、自分の能力、性質又家庭の条件にぴつたりあつた職業を選びたいと思い適材適所について、充分考えた上さらに職業というものは時代によつても変化し、なを生活の方法や進歩や社会事業の変化によつて大きなちがいがあるのだと思い、今までと一口に言う過去の事を見すてて未来の事だけを考え、昨日の社会の様子と今日の社会の有様をながめ明日の職業界のようすを予想し有望だと思われた看護婦という職業を選びました。こうして選んだ看護婦のテストに過る二月十五日受験生として出席することが許されたのでした、きようそう率がはげしく約十人に一人の割だつた、諸先生方のお骨折りと神様のお導きでしようか、私はこのテストに合格するという晴れの日を先月むかえることができたのでした。私はこの職業に従事して立派な看護婦になり、近代日本で病気のため苦しんでいる人達をやさしくいたわつてやりたいと思つています。

三村中学校卒業生　荻沼宏積

高等学校に入ると、金がかゝつてやりきれない。とは云いながら、すべての動物が親が子を守ると同じように大変心配してくれます。この親の気持を忘れず、人間と生れて人間らしく恥かしくないように暮して行きたいと思つています。これからつらい事、苦しい事、いろいろのことが我々の前途にまつていることでしよう。その苦難をつきぬけて立派に生きぬくことが出来る人が、人間として生れて本当に値打があるのではないでしようか、動物でさえも恩返しをするのです、だから我々も中学校だけでも十分なのに、高等学校へ入れてくだされた親にこの三年間しつかり頑張つて、この長くも思われ、また短かくも思われる人生を楽しく、そして愉快に過して行きたいと思つています。

石岡中学校卒業生　磯部壽美

私は高校入学のことを級友の誰よりも負けずに希望していました。家の事を考えかすかな不安をいだきながらも仲良しの御友達と楽しく好きな勉強をしたいと、真剣に進学を望んでいたのです。何回か家人と話し会つたが、結局家の都合でとうとう進学を断念する事になりました。進学する人たちをどんなにうらやましく思つたかわかりません。そんな私に先生や先輩の方達は、静かに心をとめて何度も言い聞かせてくれました。

「あなたは、進学さえすればいいんだと思つているでしようが、進学したから立派に正しい自分の道を一筋に生きられるとは限らないでしよう毎日の生活の中に自分が一番幸福なんだと思えること、これが人生で一番大切なことなのではないか。だから進学してそこで幸福を感じて生きるとも、職場で幸福をつかむことも同じではないか、心の持ち方一つですよ。悲観することは絶対にありません。はたでみてお金持ちで幸福そうだと思われる人でも、自分の生活に満足できなくていらいらしながら暮している人だつているでしよう。」

私は「はつと」しました。自分の考えは間違つていた。ああなれば幸福だと望むことより現在の中から幸福を捜すことが大事じやないか。それから私は就職することをだんだんに理解するようになりました。これからたどる道は、いつも平坦ではないかも知れない。だが勇気と努力で、どんな道でもこつこつと少しでも世の中の為に尽し、自分の幸福な生活を築きながら明るく楽しく生きたいと思つています。

才四項症以上は年12回

戦傷病者　鉄道無賃乗車回数

いろいろと取りざたされていた、戦傷病者（旧軍人、軍属）の国鉄の無賃乗車による乗車回数等は、四月一日から次のように扱われることになりました。

乗車回数は三等片道乗車を一回として年度毎に

❶特別、才一、才二項症該当者（介護を必要とする者は介護者一名を同行することができる）　＝十二回

❷才三、才四項症該当者　＝十二回

❸才五、才六項症及び才一款症該当者　＝六回

❹才二、才三、才四、才五款症該当者　＝四回

無賃乗車券を必要とする戦傷病者は本人の証明書交付申請に基き

①戦傷病者証明書、戦傷病者乗車券引換証を知事が発行し交付する

②証明書交付申請書には恩給証明書、傷痍賜金裁定通知書住民票抄本、自己の写真等を添付する。

なお、戦傷病者の適用範囲等詳細については市福祉事務所に問合せ下さい。

学校教職員

三月末定期異動

県下小、中学校教職員の三月末定期異動は、三月三十日県教育庁から発表され本市関係は次の通りである。

○小学校

◇退職　石岡小　倉田文之亟▽府中小　横田喜久子▽同　田口芳子

◇新採　井関小　中島幸子▽三村小　石毛操

◇復職　府中小　高野照子

◇転補　石岡小　田口修　志筑小▼同　鈴木洋子　竜ケ崎小▼同　市川寛　新治小▼同　大久保文枝　土浦二小▼府中小　石塚清　県教委▼同　秋元麗子　那珂湊小▼高浜小　林豊　井関小▼同　生田目愛子　井関小▼井関小　大和田友二　高浜小

◇教頭新補　府中小　石塚清　県教委

○中学校

◇退職　府中中　石沢なみ

◇新採　府中中　宮本操▽高浜中　関根源次

◇転補　石岡中　永野芳子　瓦会中▽同　進士兼義　府中中▽同　萩原朝江　竹原中▽同　小松崎秀三　下稲吉小▽同　諏訪昌光　府中中▽同　桜井久温　下稲吉小▽同　岡田満　土浦一中▽府中中　萩原藤之助　石岡中▽同　岡崎君子　高浜中▽同　金子孝　石岡中▽高浜中　小松崎良雄　石岡中▽関川中　小松崎英子　三村中▽三村中　菊地茂　石岡小▽同　藤井喜一　志士庫中

◇教頭新補　石岡中　小松崎秀三　下稲吉小▽府中中　駒田良男　府中中▽三村中　菊地茂　石岡小

なんと七十八万貫

消化される化学肥料

農業経営で当面する最も重要な問題の一つは、農産物の生産費の低減による経済の安定を図ることであろう。その対策の中の一つとして、自給肥料を基礎とした施肥の合理化による肥料費の節減が考えられますが、化学肥料の普及されている今日、年間どのくらいの化学肥料が購入されているか、農業調査員の労苦により市で行つた農業基本統計調査の結果を取上げてみよう。市内農家の年間肥料購入量は七十二万八千貫で、三千三百万円の購入額となる、これを肥料種類別にすると最高位は過燐酸で次表のとおりである。

種別	購入率
過燐酸	37%
硫安	26%
化成	11%
塩化加里	8%
石灰窒素	5%
配合	5%
硫酸加里	3%
尿素	1%
その他	4%

これは一農家二六八貫、一二、〇七二円、耕作面積によると反二五貫、一、一三六円に当る。一農家の農業支出（県農家経済力測定調査）は四二、七三八円だから二八%が年間肥料購入費に相当する。

自動車事故による被害を受けた方へ

自動車事故により被害（人身）を受けた方は、その自動車が加入している損害保険会社にも損害賠償額の支払請求ができます。

ひき逃げされた方も損害保険会社に請求して政府の保障金を受けられます

自動車の所有者は、法律に定める自動車損害賠償責任保険に加入しなければ、自動車を運行の用に供することができなくなりました。

茨城会館で表彰式

去る二十七日昭和三十年度産米予約売渡優良農家及び集荷功労者の表彰式が茨城会館で行われた。本市関係者は次のとおり

○知事賞

飯塚治（染谷）

菊地業定（高浜）

狩谷昇（関川）

佐賀明（市役所）

新入学児に「学童服」

市福祉事務所では来月一日、市内被保護世帯の新入学児童二十四人に、生活扶助費の現物支給として学童服（価格八百円）を一着あて支給することになつた。

醫療給付（國保）の拡大

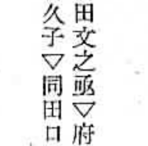
国及び県が、結核の予防、結核患者の適正な医療につとめるため、結核予防法により県の指定した医療機関で医療を受ける必要費用の二分の一は県が負担することになつている。

さらに今回の市国民健康保険条例の一部改正により、従来療養給付または療養費の支給は行わなかつた四分の一の給付（支給）を行うことになつたので被保険者の負担が半減さる。

なお、右の外に次のような一部改正があつた。

被保険者は才三者の行為によりて生じた事故による保険給付の限度で才三者に損害賠償の請求権を取得する。

被保険者が同一の事由によつて才三者から損害賠償を受けたときは、その価格の限度で保険給付は行われない。



二月分

出生五八人

死亡三〇人

◇出生

町名	父の名	続柄	出生児
宮下	忠	長女	宮内まさ子
幸町	時男	二女	中根敬子
〃	信夫	長男	鈴木清幸
中町	一郎	二女	棚橋龍子
〃	治作	長男	森田一伸
〃	治男	〃	塚本周一
若松	重信	二男	和田浩史
〃	誠	長男	村瀬充
〃	勢至	二女	田上悦子
青木	享俊	長女	殿村敏子
〃	政治	二女	石川享子
国分	富三郎	長女	小沢浩子
〃	祐吉	三女	萩原洋子
〃	誠	長男	前野光裕
泉町	常次	長女	海老沢早苗
泉町	盛雄	長女	田山孝子
〃	明	二男	石上栄二
大小路	忠一	長男	鈴木政男
〃	春義	〃	幕内宏則
金丸	昇一	三男	前野圭典
〃	右京	三女	久保田みち子
〃	弘一郎	二女	高橋紺子
守横	新一	三男	浅川渉
〃	友延	二男	橋本美延
〃	一正	長男	鈴木正人
富田	金雄	二女	久晴美
貝地	彌之助	二男	青柳伸幸
田島	清一	〃	九頭光男
行里川	進	長男	高橋久男
根当	操	長女	赤津映江
〃	充	長男	赤津優
笊内	清一郎	二男	下河辺清
半木原	利夫	長女	広瀬洋子
大砂	遠	長男	勝田良一
恭石沢	神之助	六男	新田信雄
村上	実	二男	久保田静
谷向	文善	長女	川島こう
染谷	正一	〃	篠田智子
〃	清	〃	中島勵子
高浜	保之助	四女	名畑裕子
中津川	芳雄	長男	高野義弘
〃	晟	長女	高野恭子
〃	貞夫	三女	高野智子
〃	貞夫	四女	高野敏子
東大橋	工	長女	富田惠子
〃	操	〃	岡野まり子
〃	虎雄	〃	藤枝しな
東田中	喜由	〃	川口惠子
三村	栄八	長男	本田栄
〃	四郎	長女	山口典子
〃	碧	三男	太田終了
石川	染之助	二女	坂本幸子
〃	道	二男	小松崎簡二
〃	範夫	〃	長谷川勇次
井関	由男	長男	小松崎正夫
〃	晴夫	〃	小松崎想一
〃	俊男	〃	小松崎正則

▼死亡

町名	死亡者	年令
元眞地	惠鍋寛	七八
大小路	鈴木政男	〇
金丸	石塚春代	四三
〃	山口せい	七一
山王台	柴山孝七	六六
守木	坪よて	三三
茨木	海老沢亥之吉	八〇
大谷津	堀中ひろ	七九
田島	久保田とう	六五
出し山	高野織	六五
行里川	高橋久男	〇
半ノ木	鈴木志け	六五
鹿ノ子	田山たい	八一
染谷	市村とく	八五
高浜	山口政次	六一
〃	町田なつ	八〇
〃	久米政助	七九
北根本	桜井もと	六一
〃	太田治	五九
中津川	高野敏子	〇
〃	松塚しめ	六三
東田中	菊地きち	七二
東大橋	横田源一郎	六五
三村	阿久津勝三郎	七八
石川	瀧寅蔵	六〇
井関	坂本丑松	八九
〃	萩原たけ	七八
〃	堀越いの	五三
〃	鈴木ふみ	五四
〃	立花三代治	六三